

平成25年度 施設改修主要事業

教育施設課では、市立の学校施設を小学校87校（1分校休校）、中学校43校、幼稚園14園、教職員住宅3ヶ所を所管しています。

学校施設では、例年、小規模修繕・大規模修繕等を行っておりますが、年々老朽化が進んでいることから、今後、学校施設整備計画を策定するなかで、計画的に改修できるよう努めていきます。

1 学校施設整備計画

平成25年9月めどに学校施設全体の長期的な整備計画を策定する予定です。

2 施設の改修・修繕への対応状況

(1)施設修繕・原材料対応

例年、年度当初に各学校（園）から計1,000から1,200件の施設修繕要望をいただき、長期休暇を中心に、小破修繕対応、原材料支給でおよそ半分程度の対応をしています。

大規模な改修が必要なものは、工事請負費（校舎補修費）を予算要求し、翌年度以降の対応となります。

(2)平成25年度の工事請負費等による主要改修事業

① 校舎等整備事業

・大規模改修事業（特に学校からの要望が多数となっているもの） 計3件

校舎トイレ改修工事：清水高部小学校（南校舎）、清水船越小学校、清水第一中学校（南校舎）

・校舎等補修事業 計36件

ア 津波避難階段設置工事 清水駒越小学校

イ 給水改修等工事 千代田小学校、長田南中学校、清水船越小学校

ウ 公共下水道切替工事 清水興津小学校、清水興津中学校、清水高部幼稚園

エ 屋上防水改修工事 清水興津小学校、中島小学校、清水高部小学校、豊田中学校、藁科中学校（外壁改修工事含む）、清水小島中学校

オ プール改修工事

新通小学校（プール付*外1件）、安倍口小学校（ろ過装置）、清水袖師小学校

竜爪中学校、清水第二中学校、大里中学校、清水第四中学校

カ 進入路・門設置工事 中島小学校

キ ガス配管改修工事 清水三保第一小学校、駒形小学校、高松中学校

ク 防球ネット工事 大谷小学校、清水有度第二小学校

ケ 照明設備改修工事（校舎） 井宮北小学校、由比小学校、由比北小学校

コ その他 清水有度第二小学校受変電設備改修工事、美和小学校浄化槽エア配管改修工事、足久保小学校揚水管改修工事、美和中学校体育館バスケットゴール等改修外1件工事

末広中学校渡り廊下設置工事、観山中学校第二グラウンド外構改修工事

② 校舎等外壁全面打診点検調査

建築基準法の改正により、モルタルやタイルなどの仕上材を使用した建物で、建築後又は外壁改修後10年以上経過したものについて、外壁全面打診点検が義務付けられたことから、学校施設は平成24年、25年度の2か年で対象施設の点検を行っています。また調査結果によっては、応急修繕を実施します。

平成25年度実施予定校 小学校35校60棟、中学校19校32棟、幼稚園1園1棟、教職員住宅3ヶ所3棟 計58校（園）96棟

校舎の老朽化対策について～静岡市学校施設整備計画の策定に向けた取り組み～

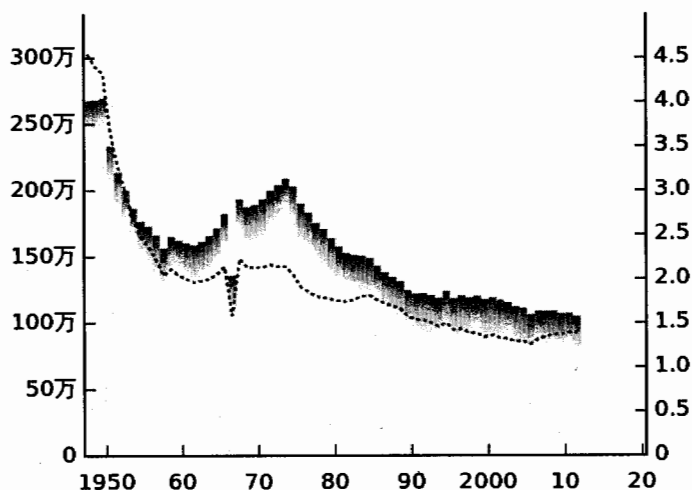
昨年度、

公共建築物面積 230 万㎡

1 年間の維持費 350 億円

というショッキングな数字が公表された。また、管財課公表資料により、静岡市の公共施設の中で学校施設が占める割合が 37% であることも周知のことであると思います。

1945 年（昭和 20 年）に終戦を迎え、戦後日本の礎となる教育の復興が急務となりました。増加を続ける人口と就学児童、その対応のため、多くの学校が必要になりました。続いて、二番目の出生数ピークが 1973 年（昭和 48 年）であったことから、児童数最後のピークは、1979 年（昭和 54 年）から、1988 年（昭和 63 年）までとなります。



静岡市が保有する公共施設において、上記ピーク時の整備以降、大きな減築がされていないことから、景気縮小、少子高齢化等による歳出過多の一因ともなっている。また、東静岡地区の誕生、丸子池田線開通等の社会基盤の変化により、問題の多元化が発生しております。このことから、静岡市教育委員会においては、

①児童数減少にともなった施設のあり方

②学校施設延命化による歳出抑制

③未来の教育環境に対応する施設整備

を図るべく、静岡市学校施設整備計画の策定を開始しております。社会基盤の変化を予測し、その実態に見合った施設配置、複合化による地区防災機能の向上等を付加しております。静岡市アセットマネジメントをビルトイン、安全、安心、そして光輝く未来を子供たちにバトンタッチすべく、知恵と経験、そして、一人一人の力を併せて、大きな目標に向けて歩みを進めております。また、施設複合化により、顕在化していない土木関連費用の抑制にも寄与したいと考えております。